

ネットゲームでフレンド探してたら女の子と出会いました。

仮面ライダーロード

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

NFOというオンラインゲーム、そんな1個のツールで繋がった青年と少女たちの物語。

目次

一夜限りの関係なのに	1
ちよつと出てきます。	4
害悪デツキ	6
配信見に来ました。	9
配信見に来ました—RinRin	12

一夜限りの関係なのに

NFO…

俗に言うオンラインゲームというものである。

様々なジョブが存在し、それによつて戦術も変わってくる。

シンプルでありながらも奥の深いゲームだ。

そしてオンラインゲームということで様々なプレイヤーとの交流がある。

おつと自己紹介してなかったな、俺の名前は風上フウマ。風に吹かれるのが大好きな所詮中二病というやつさ。俺のNFOでの職業は召喚士というものだ。元々アーケード版オリジナルであったジョブだが、つい先日実装され、愛用しているジョブだ。

ほかのジョブと違い、召喚士特有のデッキというものを用意する必要がある、そこに入手したカードを最大12枚セットしてそれらを下僕として召喚し戦うというものだ。カードにもレベルが存在し、レベル上げは苦労したが、実装されて65時間程で環境デッキは組みだし、大体のカードは全て入手した。さすがに寝ないでほぼ3日はキツかったがな。

だが、俺は『魔術型』デッキを組みたかったそれだけなのだ。

まあカードのコンボの話についてはまたそのうち話をしよう。

さて、今日もログインして1人でクエスト消化している訳だが…そろそろフレンドが欲しい。むしろ今までなんでフレンドできなかったのか不思議だ。

<緊急クエスト出現>

フウマ「はいはい来ると思っていましたよー」

とりあえずマッチングに入る。まあこんな深夜52時にプレイしてる奴いるかは知らんが…

<Rin—Rinが参加しました。>

フウマ「え？ 深夜52時やぞ。マジで？」

<聖墮天使あこ姫が参加しました。>

フウマ「嘘だろおい…まあでもさすがに3人k…」

<ユキナが参加しました。>

<リサが参加しました。>

<サヨが参加しました。>

フウマ「なじえっ!？」

いつも配信で稼いでて今は配信切ってるけど、こんな面白い光景見れるなら配信しとけば良かった：

<クエストスタートします。>

フウマ「まあこうなったらやれることをやるだけだ。」

どうやら入ってきた5人は入ってきた順にウィザード、ネクロマンサー、詩人、ヒーラー、タンク。うん悪くない、いいチームになりそうだ。てかなんかみんな女の子っぽい名前だけど、ネカマやんな？

まあ一夜限りの関係だからどうでもいいが。

召喚士の戦い方はさつき話した通りデッキを構築、引いたカードを使うといったものだ。カードのコンボによってステータスが跳ね上がるのでできる限りデッキ内容の統一が必要だ。

おつ、エクスペロージョンのカードか。初手からいい札だ、ボスの弱点を守っている装甲を叩き割れそうだ。

とりあえずMPが貯まるまでは次のカードは引けない。ここはエクスペロージョンを連発しつつMPを少しずつ貯めるしかない。

ちなみにほかの5人はというと、ウィザードもエクスペロージョンなどで装甲を割り始めている。詩人のおかげかエクスペロージョンの威力も増している。てか俺のエクスペロージョンがいつもより威力が高いのはそれか。やはりマルチは強いな。

そしてウィザードをガードするタンク、死霊を召喚しある程度の距離を取ってサポートするネクロマンサー、ずっと回復打ってるヒーラー。

いやもうHP満タンやでえ…

よし装甲が割れた、カードも2枚引ける…

フウマ「チエックメイト、俺のターン、ドロー！」

引いたカードは千本ナイフと最強の魔術師『ETERNAL』。これは決まったな。

<討伐成功、ミッション完了。>

フウマ「よし。やはりマルチだと周回スピードが異常だな。」

まあ今回はたまたまだ、またソロで配信しながら周回して…

<フレンド申請が5件来ました。>

フウマ「え」

ちよつと出てきます。

今日は何の日か。そんなの答えは1つさ。

『NFO オフラインイベント』

Neo Fantasy Online ってゲーム名なのにこれじゃあNeo fantasy offlineだわ。ごめんなんでもない。

だが、今回俺は出演者として出演する。

ジョブごとの上位ランカーが集まり、互いに対戦するというものだ。

顔出しNGなら覆面をして参加するか参加拒否するかといった感じだ。

ちなみに俺は顔出しNGではないが一応覆面をして参加する。

特に今回のジョブ対決、召喚士の将来に大きく影響していくものだと思っっているのな。あと、配信で稼いでいるとはいえ、この大会の賞金100万円は普通に欲しい。

というわけで会場に着いた俺は早速ウォーミングアップをする。

??「あの…もしかしてストーファーさんですか?」

妖艶な黒髪の女性が話しかけてくる。

ストーファーというのはゲーム内での俺の名前だ。

フウマ「はいそうですが…」

??「ほんとですか!私は剣士ランカーのクロエです。ストーファーさんの大ファンなんです!」

フウマ「そ、そうなんすね…よ、よろしくお願いします…」

クロエ「うんうんよろしく。」

うわあ陽キャだ…いやエッチすぎやから妖キャ??

え、怖っ。

スタツフ「ストーファーさんとクロエさんですね、今日はよろしく
お願いしますー」

クロエ「うんよろしくー」

フウマ「よろしくお願いします。」

スタッフ「あとストーファーさん、サイン貰ってもいいですか？」
フウマ「さ、サイン？書類とかのですか？」

スタッフ「あ、それはイベント終わってからで。今欲しいのは私の私物のやつです。」

フウマ「あつ…そつすか…」

「と俺は渡された色紙にサインを描く。」

スタッフ「ありがとうございます！ また係員から誘導があると思いますのでお待ちください。」

クロエ「はい」

フウマ「了解です。」

<その頃>

燐子「あ、あの…えつと…」

紗夜「待機列はこっちみたいですね。」

あこ「人がいっぱいですねー紗夜さーん」

友希那「イベントとはこういうものなのね。いつか私たちのライブもこれだけの人に来て欲しいわね。」

リサ「ちよつと待って？いつもこれぐらい来てるはずだよ？」

燐子「と、とりあえず並んで待ちましょう。」

あこ「にしてもりんりん、良かったの？ウイザードランカー大会出て優勝したら100万だよ？」

燐子「いいよ…私は…それにあこちゃんこそネクロマンサーの方はいいの？」

あこ「ううん…迷ったけど、りんりんと一緒にイベント楽しみたいもん！」

紗夜「そうですね、私もポテト食べたいです。」

リサ「NFOの限定グッズっていう目標忘れてない？」

友希那「私は詩人、ひたすら詩を読むわ。」

リサ「うん可愛いよ友希那。」

害悪デツキ

フウマ「バレーファルコン召喚。召喚士のスキルカード発動、ファルコンの効果でスキル再利用、ファルコンのパワー値上昇。攻撃。」

実況「おおつとファルコンの効果が発動！スキルを再利用して威力を上昇、しかも回避できなアい!!なんて害悪デツキなんだア！」

解説「某カードゲームみたいですねこれ。」

実況「それを言っちゃアおしめえよ。」

1回戦、無事に突破できそうだ。

ちなみに総当たり戦で全部で3回対戦するわけだが…その対戦ごとにデツキを変更することができる。1回戦目では害悪デツキを使つたわけだが…次はあのデツキを使うか。

実況「では続いて2回戦目。NFO、ジョブ別ランカースバトル、スタート！」

俺が今回使うのは妨害害悪デツキ。

フウマ「ゴーレム召喚、耐性付与、デバフ設置。」

対戦相手「デバフ対策しかしてないのに…やっぱりファルコンではないか…サレンダー。」

実況「おつと…対戦相手早すぎるサレンダー!!」

解説「あのゴーレムは召喚士を守ってくれる優秀なモンスターですが、耐性付与によってかなりの高火力でなければ突破できず、デバフ設置によりその高火力も低下してしまう。詰みです、害悪です。」

まあ勝つためだからね仕方ない。

それにそもそも召喚士の戦闘スタイルが対プレイヤー仕様ではない気がする。だってこんなほぼカードゲームじゃん。

実況「さあて、第3回戦の準備が整いました、最終バトル、スタート！」

最後に使うのは新作の『薔薇型テーマ』のデツキだ。

デバフとデバフの解除やポイント吸収で直接の戦闘を有利にしているデツキだ。もちろんテーマ統一のため全体的にステータスも上昇する。

実況「なんとびつくりストーファー選手、ここに来て普通にテーマ
デッキです！」

隣子「えっ…」

あこ「今、ストーファーって…」

紗夜「確かこの前の緊急マルチの時の…」

友希那「あの時はあの人がいなければクリアできなかったわね。」

リサ「ほんといい人だったよねー」

友希那「でもその彼が今あのステージにいるのね。」

紗夜「そうですね。ですが…フレンド追加していただけたとは思っ
ていませんでした。」

隣子「同じく上位ランカーですけど…びつくりです…」

あこ「ジャブが違々と上位ランカー同士の付き合いってほとんどな
いよねー」

フウマ「薔薇型バレットローズでガード低下、ロージングドラゴン
で攻撃。」

対戦相手「くううう、負けた、さすが1位だな。」

フウマ「あんまり自分の順位に興味はないのだから。」

対戦相手「またいつか、対戦お願いします。」

フウマ「そうですね、いつかまた。」

実況「というわけでまずNFO最強の召喚士はストーファー選手に
決定だあ！みんな大きな拍手をしてくれ！」

恥ずかしいなこれ。

あこ「すごいねりんりん！」

隣子「うん…私も…いつかあんな風になる…」

紗夜「そういえばこの都市のイベントに参加しているということ
はこちらに住んでる方なのでしょうか。」

友希那「気になるわね。」

リサ「多分そうだと思うなあー。あ、そうだオフ会やろうよ！6人
で！」

4人「え」

チームRoselia、果たして彼女らは頂点をめざし、フウマと

オフ会ができるのだろうか…
次回、「配信見にきました。」ご期待ください。

配信見に来ました。

フウマ「よしそろそろ配信の時間だな。はあ…眠い。」
久々に寝たわけだが、かなり眠い。

フウマ「まあ頑張ろ、頑張らなきゃお金無くなるし…」
もう3000人待機してる…怖っ。

フウマ「はいおはようございますーストーリーファーです。今日もNeo Fantasy Online、NFOやっていこうと思いまーす。」

「なんかフレンドメッセージ来てるぞー!」

「え、てことはストーリーファーさんがフレ申請したってこと?」

「いやでも絶対上位ランカーばかりだよ。」

フウマ「あ、マジでメッセージ来てるわ、後で見とくか。」

一体なんのメッセージだよ…

フウマ「とりあえずね、マルチクエストから消化していくわ。」

240円「マルチしたい!」

フウマ「いやああんまりスナーとマルチしたくないかなあ…あはは…ごめんねー。」

度々こういうスパチャが飛んでくるわけだが…困ったもんだ。

フウマ「とりあえずマッチング開始と… まあいつも通り出撃可能になったら出撃するわけだよ。」

<RinRinと聖墮天使あこ姫とサヨが参加しました。>

フウマ「え」

<準備が整いました、出撃できます。>

フウマ「えっなんで」

「フレンドじゃねこれ」

「にしても入ってくんの早すぎw」

「実は配信見られてる説」

フウマ「これで配信見られてたら笑うわ」

「まあでもこの前のイベントの件があるからなあ」

「配信主ってことバレてそうw」

5000円「フレンドおめ」

フウマ「ああ確かにバれてそうw あ、スパチャありがとごさい
まーす、配信終わったらまた読み上げやりますんで配信楽しんでいっ
てねー」

<クエスト開始します。>

フウマ「よしてきた、じゃあやっていくかー」

今回のクエストはコラボイベントの『ブレイブドラゴン』の討伐ク
エスト。なんのコラボかは知らないが、ブレイブドラゴンの持つ火の
魔石と龍の魔石がちょうど欲しかったのでクエストを進めようって
感じだ。

フウマ「とりあえずやはりネクロマンサーとウィザードとタンクの
人か。なんかこの人たちはすごい頼りになるんだよな…」

今までマルチはクソとか思ってたのに不思議なこった。

そしてなんやかんやでウィザードの人のエクスペーションが決
まりクエストクリア。報酬もタンクの人のスキルのおかげで大量に
獲得できた。

「かなりのベストチームではこれ。」

「てかウィザードとネクロマンサーの人上位ランカーやんけ」

「まっ..やばすぎやろ」

フウマ「マ?..やばすぎやろ」

ついコメントと同じことを口に出してしまった。

てか上位ランカーってことはあの会場にいたのか…??

覚えてねえな…

クロエ『5000円：おお今日も配信やってるねー』

「あ、本物じゃん」

「すげえクロエの本物やー」

「さすがストーリーファーさん、上位ランカーの知り合いめっちゃおるや
んー憧れるう」

フウマ「ええ…まあクロエさん、この前のイベントはお疲れ様っす。
まあまたそのうちマルチでもしましょう。」

フレンドやクロエさんの登場でフレンド入りし同接が2万を超え

たのはそのうち話すとしよう。

次回、白金燐子視点の『配信見に来ました。』
ご期待ください。

配信見に来ましたーR i n R i n

燐子「確かストーファーさんはこのアプリで配信を…」

あこ「あ、ほんとだ！この人だよりんりん、紗夜さん！」

紗夜「確かにこの人ね。アーカイブの声の感じも本人で間違いないでしょう。」

あこ「あ、もうすぐ始まるみたいだよ！」

紗夜「にしても、宇田川さんはともかく私までお泊まりしても良かったのですか？」

燐子「氷川さんも私たちのNFO仲間ですから…」

紗夜「そうですね、少し照れますね。あ、あとストーファーさんにオフ会の件の話をメッセージで送っておきました。」

燐子「え」

あこ「紗夜さんが率先してメッセージを送るってかなり珍しいですね」

紗夜「私もオフ会にも興味はあるの。一応、スタンガンは用意してあるので安心してオフ会できますね。」

燐子「多分…ストーファーさんが安心してオフ会できない…です…」

そんな会話をしていると配信が始まりました。

ストーファー「はいおはようございますーストーファーです。今日もNeo Fantasy Online、NFOやっていこうと思

います。」

なんだかストーファーさんの声、好きかも…

「なんかフレンドメッセージ来てるぞー！」

「え、てことはストーファーさんがフレ申請したってこと？」

「いやでも絶対上位ランカーばっかりだろ。」

あ、私もコメントしなきゃ…何打とう…

あこ「多分このコメント欄で言われてるメッセージ紗夜さんのやつじゃないですか？」

紗夜「確かにそうかも。配信が終わったあとも楽しみね。あら、

オート周回になつてないわ…かなりのタイムロスね。ただ、目標の分は回収できてはいるわね。」

あこ「オート周回便利ですよねー」

ストーファー「あ、マジでメッセージ来てるわ、後で見とくか。」

あこ「とりあえず見てもらえそうで良かったー!」

ストーファー「とりあえずね、マルチクエストから消化していくわ。」

240円「マルチしたい!」

え、スパチャだ…というか私もストーファーさんとまたマルチしたい…そうだ、このマルチクエストは募集中はフレンドなら入れるクエストのはず…

フウマ「いやああんまりスナーとマルチしたくないかなあ…あはは…ごめんねー。」

燐子「このクエスト、フレンドなら即マッチングできるので入りませんか。」

紗夜「おつ、NFOのことになると早口になる白金さんが出たわね、ちやうど私もそう思っていたところよ。」

あこ「あこはもう準備おつけー!」

燐子「じゃあやっちゃいましょう。」

フウマ「とりあえずマッチング開始と… まあいつも通り出撃可能になったら出撃するわけだが。」

そういつも通りにはさせません。

< Rin Rin と聖墮天使あこ姫とサヨが参加しました。 >

フウマ「え」

< 準備が整いました、出撃できます。 >

フウマ「えっなんで」

紗夜「かなり驚いてますねストーファーさん。」

あこ「友希那さんが猫に逃げられた時みたいな反応ですね!」

燐子「あこちゃん、それ本人には言わない方がいいね…」

「フレンドじゃねこれ」

「にしても入ってくんの早すぎw」

「実は配信見られてる説」

案の定コメント欄は私たちのことで溢れている。

フウマ「これで配信見られてたら笑うわ」

「ごめんなさい見えます。」

「まあでもこの前のイベントの件があるからなあ」

「配信主ってことバレてそうw」

5000円「フレンドおめ」

フウマ「ああ確かにバレてそうw あ、スパチャありがとごさい
まーす、配信終わったらまた読み上げやりますんで配信楽しんでい
てねー」

<クエスト開始します。>

フウマ「よしきた、じゃあやっていくかー」

今回私たちが一緒にやるクエストはコラボイベントの『ブレイブド
ラゴン』の討伐クエスト。ブレイブドラゴンの持つ火の魔石と龍の魔
石はかなりのレアアイテム、恐らくストーリーファーさんも収集してお
つもりなのだろう。

フウマ「とりあえずやはりネクロマンサーとウィザードとタンクの
人か。なんかこの人たちはすごい頼りになるんだよな…」

私たちのこと、覚えててくれたんですね…

そして紗夜さん、かなり集中している様子…

そして私のエクスペディションが決まってクエスト完了。氷川さ
んのスキルのおかげで大量にアイテムをドロップできました。

「かなりのベストチームではこれ。」

「てかウィザードとネクロマンサーの人上位ランカーやんけ」

「ま？やばすぎやろ」

フウマ「マ？やばすぎやろ」

やはり私たちの話題が出てくるとかなり恥ずかしい…

クロエ『5000円：おお今日も配信やってるねー』

「あ、本物じゃん」

「すげえクロエの本物やー」

「さすがストーリーファーさん、上位ランカーの知り合いめっちゃおるや

んー憧れるう」

フウマ「ええ…まあクロエさん、この前のイベントはお疲れ様です。まあまたそのうちマルチでもしましょう。」

あこ「まってこの配信トレンド入りしてる！」

紗夜「同接も…2万人越え…」

燐子「す、すごい…」

私たちが話題となり、トレンド入りしてしまい、この同時接続。はつきり言ってビックリしすぎて倒れるかと思った…